

## 交流のあしあと

これまで少年野球、水泳などのスポーツ交流や、小学生の豆記者交流、こけしコンクール参加などの教育交流、その他にも文化交流、湯けむり交流支援、市民ツアーや被災地への支援などを実施してきました。今後も交流をさらに深めていきながら、さまざまな事業を行っていく予定です。



白石市支援視察では、宮城県名取市・亘理町の視察も実施



昨年10月に実施した「トライアングル交流ツアー」は、登別市へ



登別市の小学校で海老名の紹介をする豆記者たち



市民まつり会場の物産ブースの様子  
上=登別市、右=白石市



# ご存知ですか？ 海老名市都市間交流協会



## 会員募集

入会者には、市民まつりの特産品ブースで使えるクーポン券など各種特典を用意しています。この機会にぜひご入会ください。

### ■海老名市都市間交流協会の会員になると…

対象	個人会員		団体会員	
	市内在住 在勤 在学者	左記 以外の方	一般団体 (10人以上)	法人団体
会費(年額)	2,000円 中学生以下 無料	3,000円 中学生以下 2,000円	10,000円	30,000円
特典	各市2泊までの湯けむり交流支援助成(白石市=1泊3,000円、登別市=1泊6,000円)などの他、各種割引制度など		白石市、登別市との交流を目的とした事業を実施すると補助が出ます。補助額は基本額の10,000円に、参加人数分の人数割額(1人1,000円×参加人数)を加えた額。	



海老名市と白石市、登別市の三市は、「家族、姉妹、兄弟、友達」のような関係を築き、相互支援関係を強化していくことを目的に、平成23年4月、「トライアングル交流宣言」を締結しました。この宣言の締結以来、三市の間でさまざまな交流を実施しています。この交流の、海老名市の窓口となるのが、海老名市都市間交流協会です。(写真①③登別市へのトライアングル交流ツアー、②がんばろう白石復興物産展、④白石市支援視察)

平成3年11月、宮城県白石市との友好都市締結を機に、白石・海老名友好親善交流協会として発足したのが始まりです。白石市との交流を深めていく中で、白石市と姉妹都市である登別市と海老名市の関係も築かれていきました。  
平成22年4月の白石市・登別市との「災害援助協定の締結」や、同年11月の「トライアングル交流宣言に向けた合意の締結」を機に、これらの交流を行政だけでなく、市民レベルにも広げていきたいと考え、組織を登別市を含めた協会に改めるため、平成23年4月、白石・海老名友好親善交流協会から海老名市都市間交流協会へと改組しました。

## 白石市寄付金一覧

(平成23年8月22日～24年3月31日)

- ▼社団法人海老名青年会議所1万3600円
  - ▼明日のえびなを元気にする仲間の会6万604円
  - ▼東柏ヶ谷三丁目自治会11万7781円
  - ▼えびな市民まつり実行委員会35万5288円
  - ▼海老名市青少年指導委員会13万284円
  - ▼海老名市自動車商工組合2万528円
  - ▼海老名市商工会議所建設・不動産部会(社)神奈川県宅地建物取引業協会県東支部女性部会2万825円
  - ▼海老名市商工会議所社交ダンス愛好会2万3280円
  - ▼海老名市民踊協会5万円
  - ▼いまいずみ会4万1000円
  - ▼チャリティコンサート主催者3万円
  - ▼市さつき研究会1409円
  - ▼すみれ会2万4320円
  - ▼県立中央農業高校生徒会1万8027円
  - ▼有限会社エビナ自動車工業1万6380円
  - ▼国分寺台五丁目自治会19万2000円
  - ▼海老名市観光協会20万3600円
  - ▼神奈川県太鼓連合理事長・島田健次10万9662円
  - ▼NPO法人WE21ジャパンエビナ3000円
  - ▼社会福祉法人星谷会3000円
  - ▼寿美・天野りえ10万円
  - ▼愛子園父母の会すみれ会1万6165円
  - ▼国分寺台中央商店会10万4700円
  - ▼杉久保小学校卒業生1185円
  - ▼その他(個人および募金箱など)25万2829円
- 寄付金総額(平成23年3月18日～24年3月31日) 749万9852円